

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公開番号】特開 2001-310552(P2001-310552A)
 【公開日】平成 13 年 11 月 6 日 (2001.11.6)
 【出願番号】特願 2000-130919(P2000-130919)
 【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)
B 4 1 M 5/50 (2006.01)
B 4 1 M 5/52 (2006.01)
B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B
 B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 26 日 (2007.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 基材上に、インク受容層を有するインクジェット記録用媒体であって、上記基材の表面が、J I S B 0 6 0 1 に基づいて測定された断面曲線からの低域カットオフ値 0 . 8 mm および高域カットオフ値 8 mm で導いた濾波うねり曲線から求められる濾波中心線うねり値として 5 μ m 以上を有し、かつ該基材の表面と上記インク受容層の表面の光沢度 (75 度) の差が 3 以下であることを特徴とするインクジェット記録用媒体。

【請求項 2】 前記インク受容層が、平均粒子直径が 50 ~ 1000 nm のアルミナ水和物粒子と、平均粒子直径が 1 ~ 20 μ m の粗粒子を含む請求項 1 に記載のインクジェット記録用媒体。

【請求項 3】 前記粗粒子が、平均細孔半径が 5 ~ 30 nm で、細孔容積が 0 . 3 ~ 3 . 0 c m³ / g の多孔質である請求項 2 に記載のインクジェット記録用媒体。

【請求項 4】 J I S B 0 6 0 1 に基づいて測定された断面曲線からの低域カットオフ値 0 . 8 mm および高域カットオフ値 8 mm で導いた濾波うねり曲線から求められる濾波中心線うねり値が 5 μ m 以上の表面を有する基材上に、平均粒子直径が 50 ~ 1000 nm のアルミナ水和物と、平均粒子直径が 1 ~ 20 μ m の粗粒子と結着剤とを含む塗工液を塗布してインク受容層を形成することを特徴とするインクジェット記録用媒体の製造方法。

【請求項 5】 前記基材の表面と、該基材上にインク受容層を形成した表面との光沢度 (75 度) の差が 3 以下である請求項 4 に記載のインクジェット記録用媒体の製造方法。